

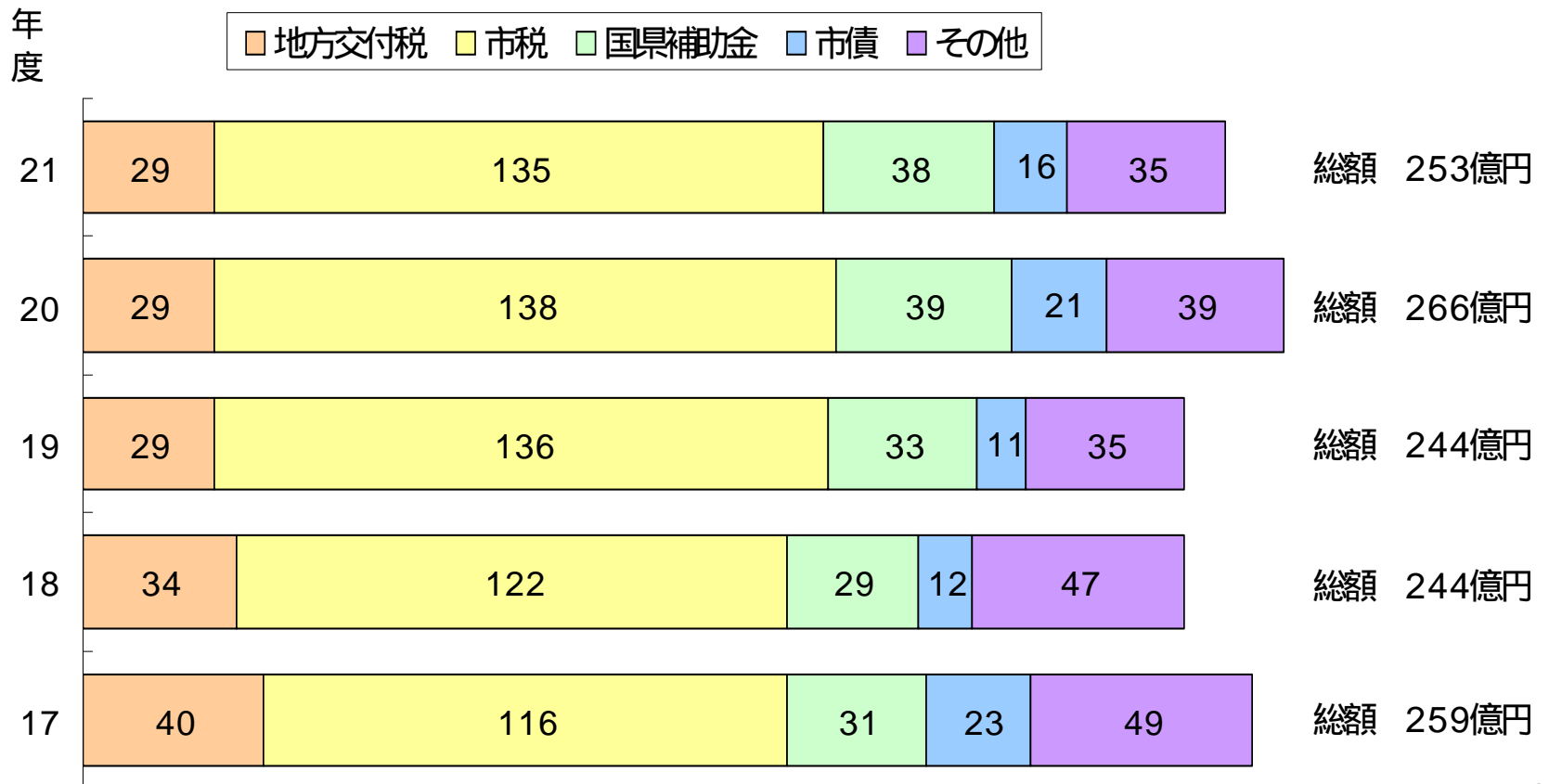
# 富士見市の現状

- 1 . 歳入予算の推移
- 2 . 歳出予算の推移（目的別）
- 3 . 歳出予算の推移（性質別）
- 4 . 地方交付税額の推移
- 5 . 基金残高の推移
- 6 . 経常収支比率の推移
- 7 . H16年度～H19年度の行財政改革の成果
- 8 . 定員適正化の目標
- 9 . 年齢構成比の推移
- 10 . 産業の推移
- 11 . 産業の推移

# 1 . 歳入予算の推移

- ・昨秋の金融状況の急激な悪化に伴い、税収入が落ち込んでいるため、来年度以降の市税や地方交付税（国税収入が原資）は大きな減額が見込まれる。
- ・地方交付税を含む一般財源は、今後も増額は見込めない状況である。  
**H 2 1 予算額は補正（第 1 号）を含む。**

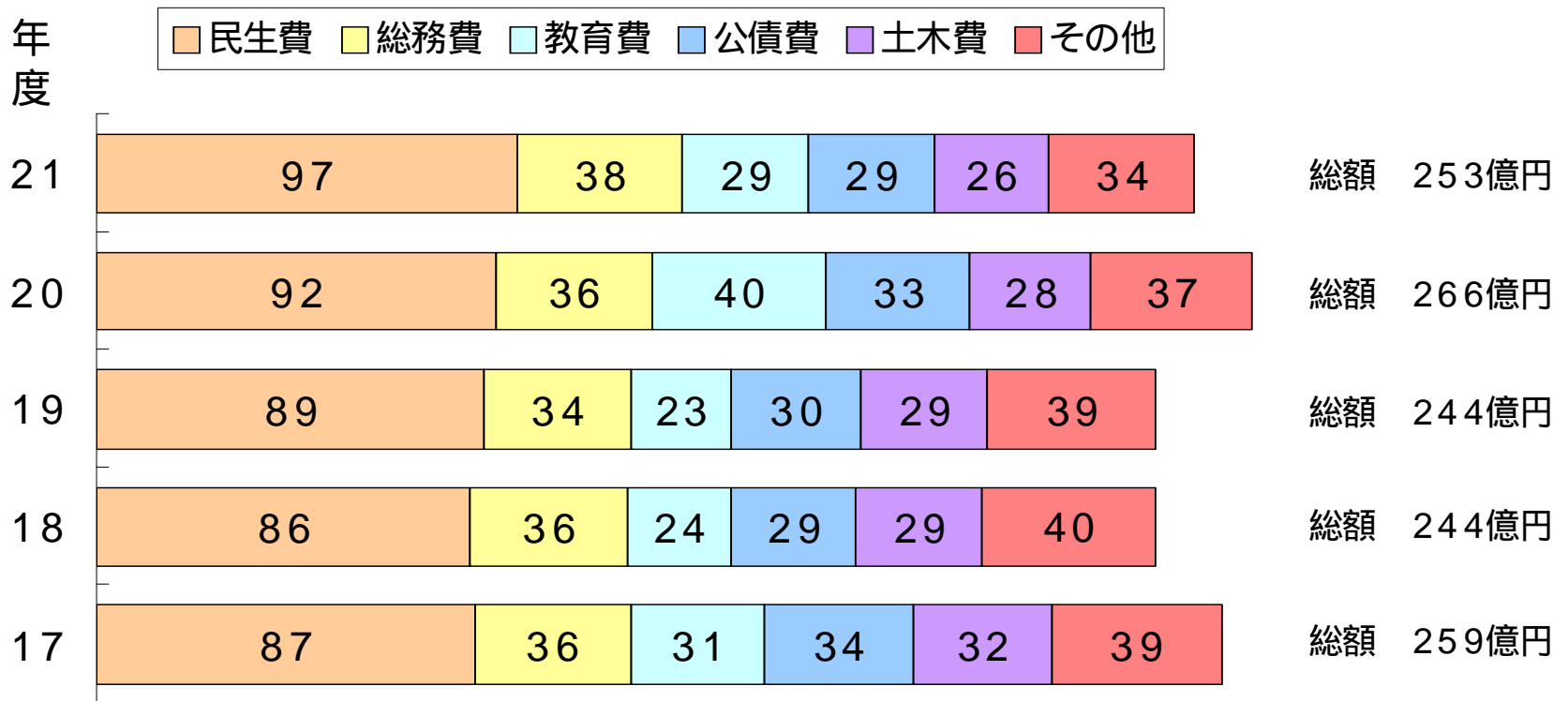
単位：億円



## 2 . 歳出予算の推移（目的別）

- ・ 民生費がここ5年間で10億円増えており、今後も増加が見込まれる。
- ・ 総務費などその他の経費は、行財政改革による経費節減に伴い一定の効果が見られる。

年度：億円

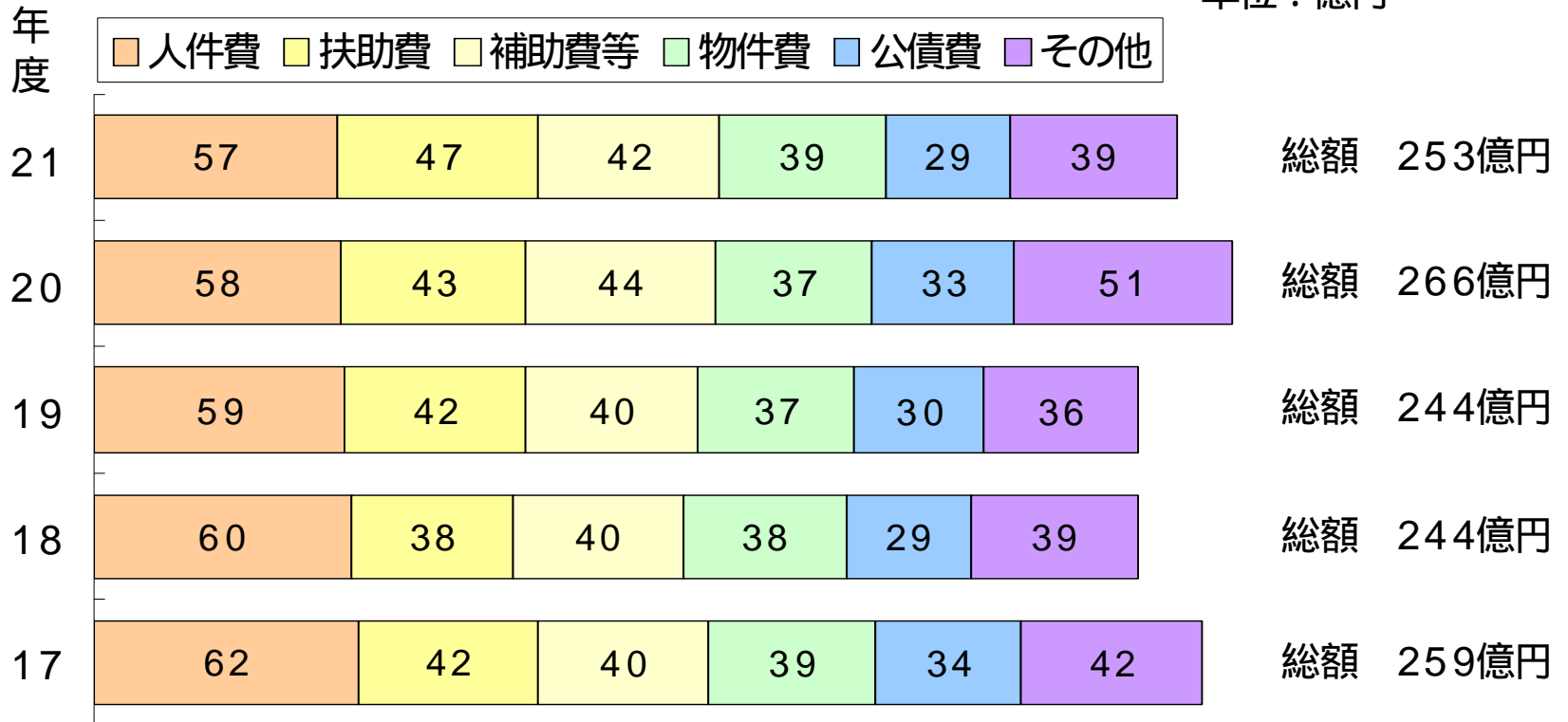


- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| ・ 民生費（高齢者・児童の福祉等に）   | ・ 公債費（借入金の返済に）         |
| ・ 総務費（文化振興、情報化の推進等に） | ・ 土木費（道路、河川、公園の整備等に）   |
| ・ 教育費（学校、公民館、図書館等に）  | ・ その他（消防活動、ごみ処理、議会費など） |

### 3 . 歳出予算の推移（性質別）

- ・ 人件費は、採用抑制により年々減少しているものの、人員を補てんするための非常勤嘱託職員の採用により物件費が増加傾向にある。
- ・ 目的別同様、扶助費は今後も増加が見込まれる。

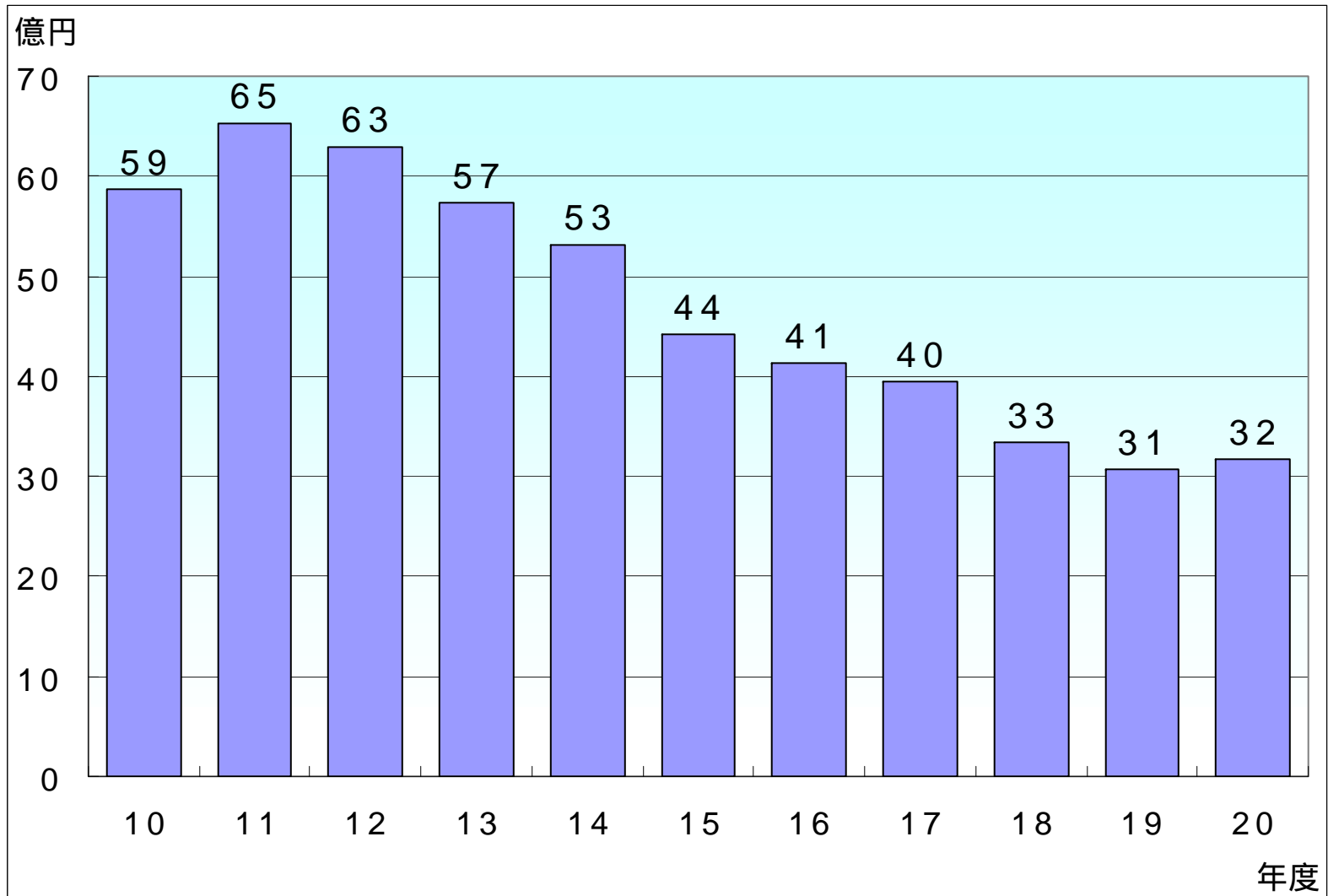
単位：億円



- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| ・ 人件費（職員給与、議員報酬等）  | ・ 物件費（光熱水費、消耗品等）   |
| ・ 扶助費（福祉、医療、給付金等）  | ・ 公債費（借入金の返済金）     |
| ・ 補助費等（市が交付する補助金等） | ・ その他（建設事業費、繰出金など） |

# 4 . 地方交付税額の推移

・平成11年度の約65億円をピークに、年々減少傾向である。

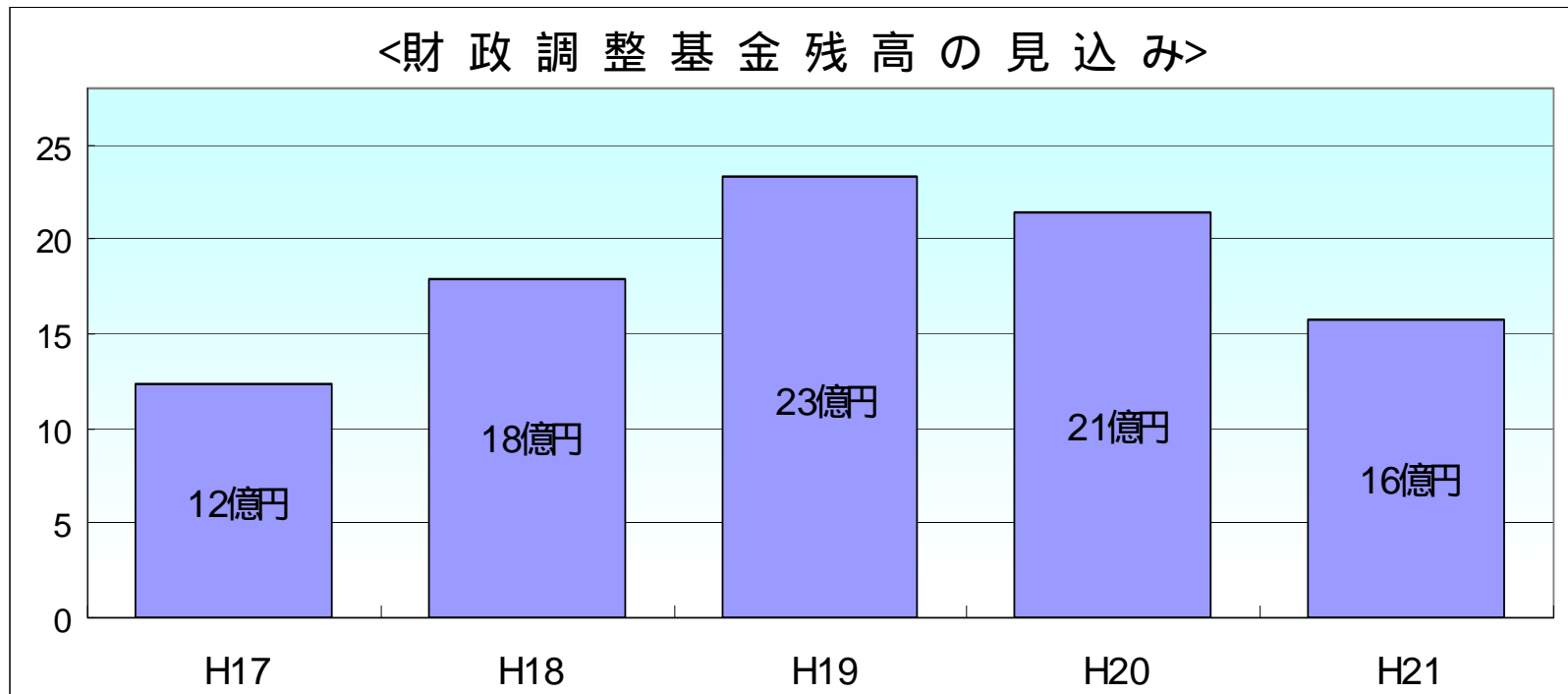


# 5 . 基金残高の推移

- ・ 来年度以降、同規模の予算編成を行った場合、基金から8億円の繰入れが必要となり、計算上では23年度に基金は底をつく見込みである。

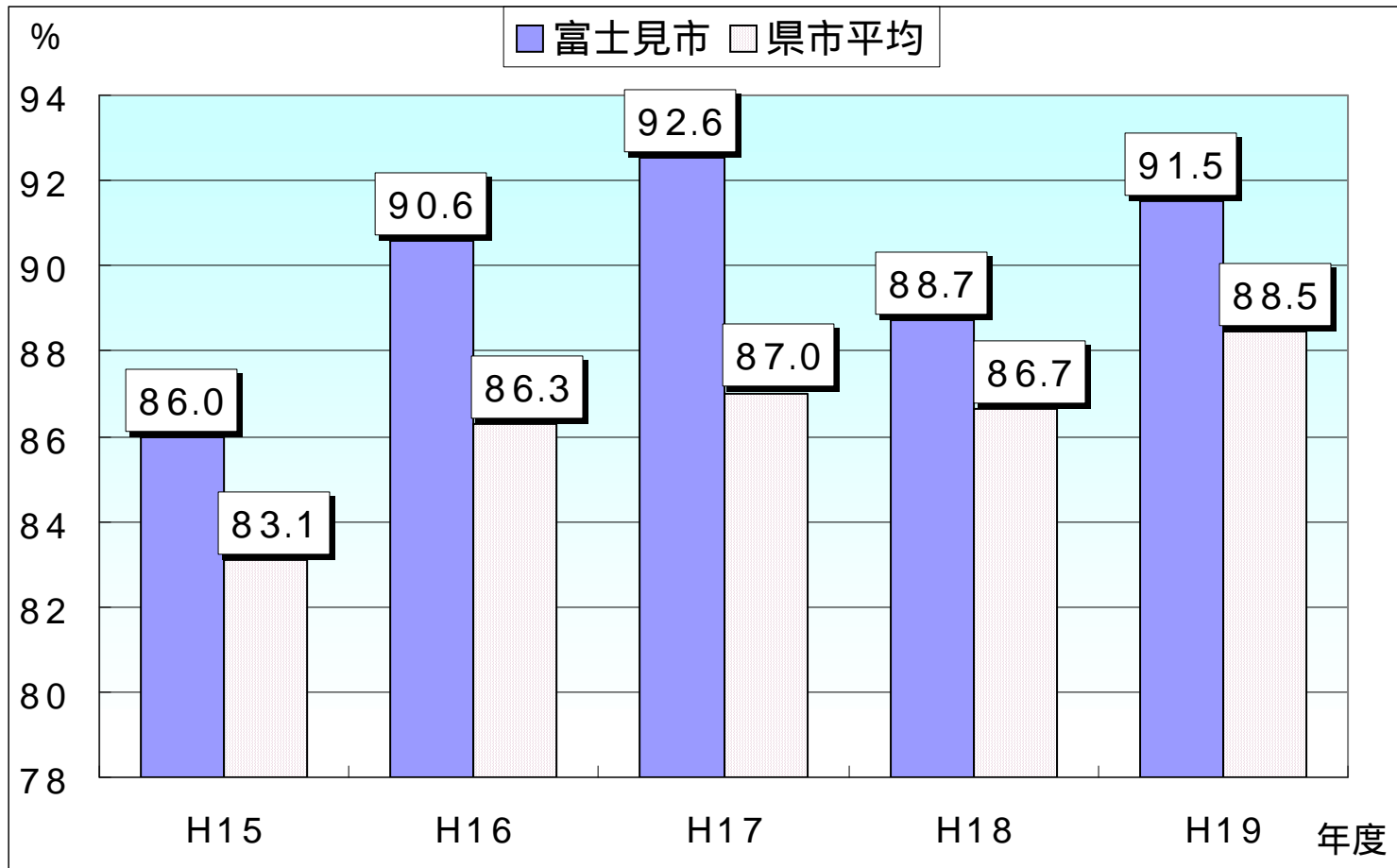
単位：千円

	H17	H18	H19	H20	H21
積立額	616,994	545,114	543,972	317,351	257,828
取崩額	1,193,833	0	0	500,000	826,860
残高	1,241,171	1,786,285	2,330,257	2,147,608	1,578,576



## 6 . 経常収支比率の推移

- ・ 100%から各年度の経常収支比率を差し引いた割合で、新たな行政課題に対応する体力を図る比率である。一般的に適正な水準が70～80%とされている中で、本市は90%台で高止まりをしているため、年々自由に使えるお金の度合いが制限されてきている。



# 7 . H16年度～H19年度の 行財政改革の成果

(単位：千円)

	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	計
削減額	105,247	174,466	730,082	652,803	1,662,598
増収額	-	311,128	487,720	146,666	945,514
計	105,247	485,594	1,217,802	799,469	2,608,112

平成20年度影響額は反映していない

削減額、増収額とも、金額換算可能なものについて集計



# 8 . 定員適正化の目標

平成17年度に定員適正化計画を策定し、定年退職者の不補充、及び機構改正等の実施により計画的な職員数の減員を進めてきました。平成22年度までの5か年で、職員数を611人とする目標に向けて取り組んできましたが、計画策定から3年が経過した平成20年度において、職員数の減員は勧奨退職者の増加等により計画以上に推移している状況(表1)にあることから平成20年5月に新たな適正計画(表2)を作成しました。

【表1】 <これまでの適正化計画>

(単位:人)

年度	17	18	19	20	21	22
平成17年度策定計画	695	685	670	638	626	611
職員実数	695	675	651	626	-	-

【表2】 <定員適正化計画(平成20年5月策定)より抜粋>

年度	20	21	22	23	24	25
職員数	626	614	590	578	566	552
新規採用	11	17	17	16	16	17
退職者	29	41	28	28	31	35
減員数	25	12	24	12	12	14

【表3】 【平成20年度退職者実数及び平成21年度新規採用職員の実数を反映したもの】

年度	20	21	22	23	24	25
職員数	626	613	590	578	571	557
新規採用	11	24	17	16	16	17
退職者	37	40	28	23	31	34
減員数	25	13	23	12	7	14

【表4】 臨時職員の推移(予算ベース)

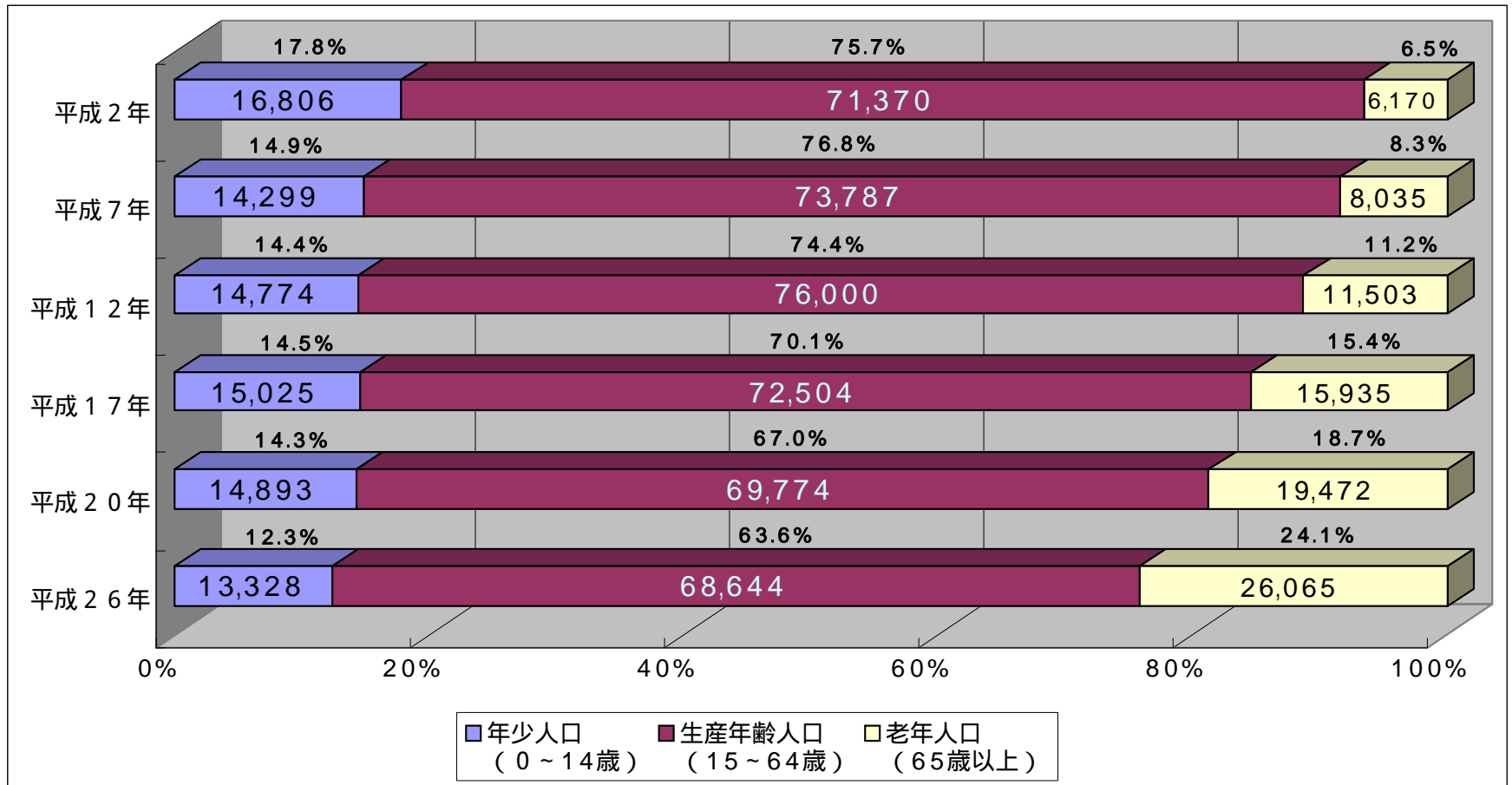
年度	17	18	19	20	21
臨時職員(予算ベース)	448	441	460	465	470

【表5】 今後の定年退職者数 (平成20年4月現在)

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28
定年退職者(平成20年4月時点)	24	35	23	23	26	29	24	54	16
定年退職者(平成21年4月時点)	37	34	23	18	26	28	24	54	15

# 9 . 年齢構成比の推移

・ 少子化や高齢化の急速な進展に伴い、生産年齢人口の減少が見込まれる。



資料：住民基本台帳  
資料：富士見市高齢者保健福祉計画

# 10 . 産業の推移

## 農家数、農家人口、経営耕地面積、農業粗生産額の推移

年	農家数 (戸)	農家人口 (人)	耕地面積 (ha)	農業粗生産額 (百万円)
昭 40	1,236	7,442	1,271	-
45	1,161	6,681	1,178	-
50	1,062	5,770	1,013	2,047
55	1,008	5,250	914	2,104
60	976	4,995	832	2,256
平 2	920	4,609	775	2,456
7	888	4,285	710	2,264
12	807	3,832	618	1,732
17	601	2,433	565	1,520

農業粗生産額の昭和40・45年については、データ不明のため記載していません。

資料：2005年農林業センサス統計報告書「埼玉県農林業の概要」・埼玉県統計鑑 5-11(「埼玉農林水産統計年報」)

## 商業の推移（飲食店を除く）

年	商店数	従業者数 (人)	年間商品 販売額(万円)
昭 51	740	2,423	2,287,303
54	812	2,741	3,557,057
57	808	2,931	4,603,440
60	772	3,182	5,609,725
63	818	3,965	7,783,813
平 3	841	5,248	9,262,126
6	734	4,021	9,632,353
9	716	4,153	9,960,069
11	767	4,945	9,791,744
14	715	5,068	8,336,112
16	677	4,615	7,190,695
18	598	4,310	6,824,774

【参考】県内平成  
H14～H18：90市町村

商店数	従業者数 (人)	年間商品 販売額(万円)
702	5,439	166,942
646	5,138	159,598
806	6,672	216,484

【参考】県内市平均  
H14～16：41市  
H18：40市

商店数	従業者数 (人)	年間商品 販売額(万円)
1,339	10,644	338,281
1,230	10,036	320,791
1,278	10,745	354,691

# 1 1 . 産業の推移

## 工業の推移

年	工場数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)
51	83	1,116	1,397,972
54	108	1,269	1,875,233
57	87	1,453	2,518,493
60	227	1,966	2,859,805
63	114	1,692	2,513,225
平 3	120	1,887	3,355,040
6	104	1,693	2,530,142
9	88	1,379	2,340,742
11	89	1,384	2,321,278
14	76	1,054	1,895,556
16	80	1,085	2,260,745
18	65	959	1,991,357

【参考】県内平成  
H14～H18：90市町村

工場数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)
180	10,604	14,177,638
171	4,680	15,076,652
214	6,067	20,339,887

【参考】県内市平均  
H14～16：41市  
H18：40市

工場数	従業者数 (人)	製造品出荷額 等
326	8,285	24,268,109
306	8,052	24,897,594
322	8,642	28,353,763

## 産業指標県内市比較

産業	指標	順位 / 県内市数
農業	農家戸数	23 / 41 (H17時点)
	経営耕地 面積	22 / 41 (H17時点)
商業	商店数	30 / 40 (H18時点)
	年間商品 販売額	38 / 40 (H18時点)
工業	工場数	40 / 40 (H18時点)
	製造品等 出荷額	40 / 40 (H18時点)

資料：埼玉県統計年鑑 7-5 表